

岡山大学病院総合内科・総合診療科

病院名・診療科名 : 岡山大学病院 総合内科・総合診療科
研修プログラム名 : 岡山大学病院内科専門医研修プログラム
岡山大学病院総合診療専門医研修プログラム

住所 : 〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1

ホームページアドレス : <https://okayama-u-sougounaika.jp/>

連絡先メールアドレス : hagiya@okayama-u.ac.jp (医局長 : 萩谷英大)

指導医名

載者 : 萩谷 英大

大塚 文男	(教授)
草野 展周	(教授 : 感染症内科)
片岡 仁美	(教授 : ダイバーシティ推進センター)
植田 圭吾	(教授 : 岡山県南東部 (玉野) 総合診療医学講座)
小川 弘子	(教授 : 地域医療人材育成講座)
三好 智子	(准教授 : 暮らしき総合診療医学教育講座)
花山 宜久	(准教授 : 県南西部 (新見) 総合診療医学講座)
堀口 繁	(准教授 : 岡山県南西部 (笠岡) 総合診療医学講座)
萩谷 英大	(准教授 : 瀬戸内 (まるとめ) 総合診療医学講座)
小比賀 美香子	(講師)
長谷川 功	(講師)
谷山 真規子	(講師 : 県南東部 (玉野) 総合診療医学講座)
榮 浩行	(助教)
徳増 一樹	(助教)
岡 浩介	(助教)
中野 靖浩	(助教)
赤穂 宗一郎	(助教 : 暮らしき総合診療医学教育講座)
安部 真	(助教 : 県南西部 (笠岡) 総合診療医学講座)
本多 寛之	(助教 : 瀬戸内 (まるとめ) 総合診療医学講座)
大村 大輔	(助教 : 県南西部 (新見) 総合診療医学講座)
佐藤 明香	(助教 : 卒後臨床研修センター)
越智 可奈子	(助教 : 医療教育センター)
西村 義人	(助教 : 国際診療支援センター)
岸田 雅之	(客員教授 : 連携大学院)

科の目標としている医師像

総合力と専門性の「ハブ hub」となる総合内科医
広い視野と協調性をそなえ全人的医療のできる総合内科医

スタッフ人数

24人 (男性スタッフ: 17人 女性スタッフ: 7人)

後期研修医人数

7人 (男性スタッフ: 3人 女性スタッフ: 4人)

オンコール

月 2-3回

診療科独自の病床数

11床

勉強会やカンファレンスの開催曜日・時間とその概要

	午前			午後				
月	朝回診	朝カンファ レンス	病棟	病棟 (学生・初期研修医の指導)	外来カン ファレンス	病棟カン ファレンス	医局会	当直 (週1回)
火				外来			検査部 勉強会	
水			外来 (学生・初期研修医の指導)	病棟 (学生・初期研修医の指導)			研究カン ファレンス	
木			病棟				CPC (月1回)	
金			教授回診 病棟				weekly summary discussion	
土・日	日直/オンコール (月2回)							

■ 教授回診

毎週金曜日 9:00-10:00: 入院患者の全体回診を通して、総合的かつ学生・若手医師の教育目線でベッドサイド・ラーニングを行う。

■ 朝カンファ

毎朝 8:30-9:00: 病棟患者についてプレゼンテーション・ディスカッションを行ったり、各専門領域の教育的レクチャーを行う。

■ 外来カンファ

毎日 15:00-16:00: 外来新患について、医学生がプレゼンテーションを行い、担当指導医がフィードバックをする。

■ 全体カンファ

毎週月曜 16:00- 入院予定患者の情報共有を行う。

毎週金曜 16:00- 1週間のまとめと週末オンコールの申し送りを行う。

■チームカンファ

火～木 16:00-16:30 : 病棟チーム毎に（学生含む）担当患者のディスカッションを行う。

■レジデント回診

毎週木曜日 13:30-14:30 レジデント主導の若手医師による病棟回診。回診後に Clinical Question を割り当て、各自で調べて共有する。

■リサーチカンファ

毎週金曜 8:00- 大学院生を中心に、研究進捗状況について報告しディスカッションする。

■ケースカンファ

毎週金曜 13:00- 学会発表、症例報告について進捗状況の確認と指導をする。

■医局会

毎週金曜 12:30- ランチを食べながら、情報伝達をしたり、協議したりする。

■おはよう漢方！

第4金曜 7:30- 早朝に 30 分、漢方の基礎を学ぶ。

■検査部勉強会

毎月第 4 火曜日 17:30- 臨床検査技師と共に学ぶ症例検討会。

※その他、卒後臨床研修センターなどと共催で、海外を含む外部講師を招聘してのセミナーなど

具体的な研修・業務内容の紹介

<岡山大学病院・総合内科・総合診療科でのレジデント研修について>

① レジデント（専攻医 2 年目） 孫 麗那

私は三十数年前に中国の医学部を卒業し 1995 年に来日 2017 年に日本医師国家試験に合格し岡山大学病院で初期研修医を行いました。卒後 4 年目は岡山大学病院総合内科・総合診療科のレジデントとして後期研修をしております。

私が総合内科・総合診療科を選んだ理由は三つあります。

一つ目は、当科では臓器疾患にとらわれず感染症、内分泌、血液、腫瘍、消化器、呼吸器など幅広い領域疾患を担当することができます。また、患者が抱える複雑な疾患に対し上級医のアドバイスを受けながらチーム内で情報を共有、ディスカッションを通じて上達することができます。自分の視野も広げることができます。複数疾患を持っている患者に対して他科と連携しながら患者の全身をみるのも当科の特徴です。

二つ目は、幅広い指導医陣と学習環境

当科では、ワンチームで学生、初期研修医、後期研修医の教育・研究に全力を注いでいます。朝のカンファレンスで幅広い症例の勉強を通じて国試のみではなく、日々の診療にも役立ちます。国内外の論文発表、学会参加にも積極的にサポートをしています。ぜひ未来を見据えて当科で夢を実現しましょう。

三つ目は、自由、明るい雰囲気

私は、外国出身で言葉をはじめ様々な不安がありましたが、毎日明るい雰囲気中で学生、研修医と一緒に学べるのも私にとって良い刺激となっています。興味がすこしでもお持ちの方はぜひ一度見学にいらしてみてください。お待ちしております。

② レジデント（専攻医 1 年目） 大塚 勇輝

私はこの 4 月から岡山大学病院総合内科・総合診療科（以下、当科）で総合診療専攻医として後期研修を行っています。1 年前の私自身がそうでしたが、入局先・進路に迷っている先生方・学生の皆様には、ぜひ当科での研修をお勧めします。理由は 3 つあります。

1 つ目は学びと成長の場が非常に幅広い点です。大学病院の病棟で経験できる疾患や症例は多種多様ですし、一般内科外来や、1・2 次の全科救急当直、療養型病院での勤務などといった様々な医療を希望に応じて経験できます。臨床面以外にも、学生・研修医への教育指導や、研究活動・論文執筆・学会発表など幅広い経験が出来るのも大学病院の後期研修ならではです。

2 つ目はカリスマ的な先生が沢山在籍している点です。当科は全国的にみても大変勢いがある医局だと思います。多方面で活躍する色々な年代の先輩が身近にいて自分のキャリアのロールモデルとすることができ、そうした先生方にご指導いただくことで更に知見・視野・人脈を広げることが出来ます。

3 つ目は若手が働きやすい環境が整っている点です。教授以下スタッフの先生方との距離が近く、若手の意見も積極的に尊重して下さります。何でもやりたいことがあれば、周囲の先生方が一丸となってそれ応援し温かく見守って下さります。体調不良や家庭の事情などにも柔軟に対応してもらえるシステムがあるのも素晴らしいと感じています。

病院総合医や総合診療・家庭医に興味がある人だけでなく、様々なことにチャレンジしてみたい人、自分の生き方を大切にしたい人、ぜひ当科での研修を考えてみて下さい。ともに学びましょう！

③ レジデント（専攻医 1 年目） 山本 紘一郎

本欄をお読みいただき、大変ありがとうございます。私は 2 年間の初期臨床研修を終え、総合内科・総合診療分野における内分泌的状態と精神的状態の関わりについて興味を持ち、2020 年 4 月から当科で病棟医として働き始めました。フォーカスされた目的はありますが、まずは標準的な内科診療を身につけたい気持ちもありました。私たちが担当する患者さんの背景にある疾患の領域は、感染症・消化器・内分泌代謝など多岐に渡ります。当科には、多様な専門性を持ち General mind で臨床・研究・教育に携わっている指導医が在籍しているので、私たちは内科医として持つべき基本的な知識やノウハウを学べる一方、専門家から指導を受ける機会もあります。なお、大学病院の特徴でもある研究（臨床・基礎）や教育に携わることができ、バランスよく成長できている気がします。皆さんも是非当科の見学にお越しいただき、将来的には一緒に学ぶことができたらと思います！

④ レジデント（専攻医 1 年目） 藤田 茉奈美

私は今年度より、レジデントとして後期研修をさせていただいております。

総合内科では、不明熱や内分泌疾患、消化器疾患など、分野を限定せず様々な症例を経験することが出来ます。また、患者さん一人ひとりのプロブレムに対してじっくりと考え、疾患の治療だけでなく、個別に対応のできる医療を学ぶことができ充実した毎日を過ごすことが出来ております。

中には原因検索に苦慮する場合がありますが、当科の様々な分野を専門にされている先生方の助けを借りながら、レジデントの我々が中心になって実際に考えて診療をさせていただける点は、医局としてとても大きな魅力の一つと感じております。

加えて研修医や若手に対する教育にも非常に熱心であり、病棟業務だけでなく、学会での症例発表や、研究活動にも熱心に指導して下さる点は、当科の魅力です。レジデント一人ひとりにあった教育を行う医局であり、とても働きやすい環境だと思います。ぜひ一度見学にきてください。お会いできることを楽しみにお待ちしております。

⑤ レジデント（専攻医 1 年目） 山根 真衣

私は、岡山大学病院で初期研修後、今年度よりレジデントとして後期研修を開始しました。当科では、1 つの診療科では診断や治療が困難な患者さんも多く、日々勉強になることばかりです。他科出身の先生も多く、診療で行き詰った際には、優しく相談にのっていただけるもの当科での研修のメリットだと思います。

指導熱心な先生が多く、手厚いサポートの下で研修生活を送れる当科に興味をお持ちの学生さん・研修医の皆さんは、ぜひ一度見学にいらしてください。

研修終了後の主な進路

- 中四国の市中病院、診療所勤務
- 海外レジデント
- 海外留学
- 大学病院・大学教員など

その他自由記載

大塚文男教授からのメッセージ

当科では、全人的医療のできる総合内科の育成と大学院教育の両立をめざしています。「総合医を目指す内科医」と「専門医を目指す内科医」がともに集える内科、すなわち「総合性と専門性のハブ（Hub）」となる教室づくりを目指しています。

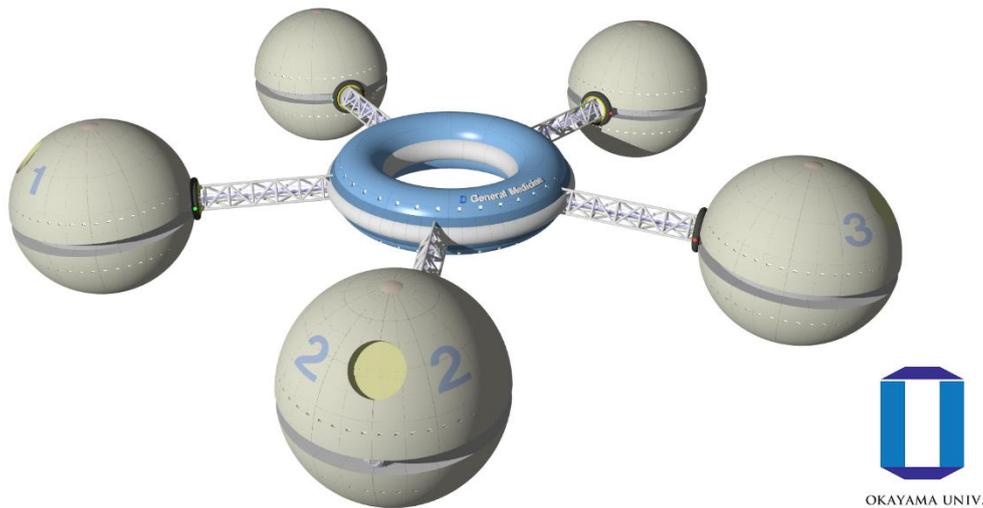
「共感・共汗・共歓・共冠」

多様なメンバーが generalist として互いに共感し、共に汗を流し、共に歓び、そしてメンバーオリジナルの冠を共に目指していく、そんな医局でありたいと考えています。



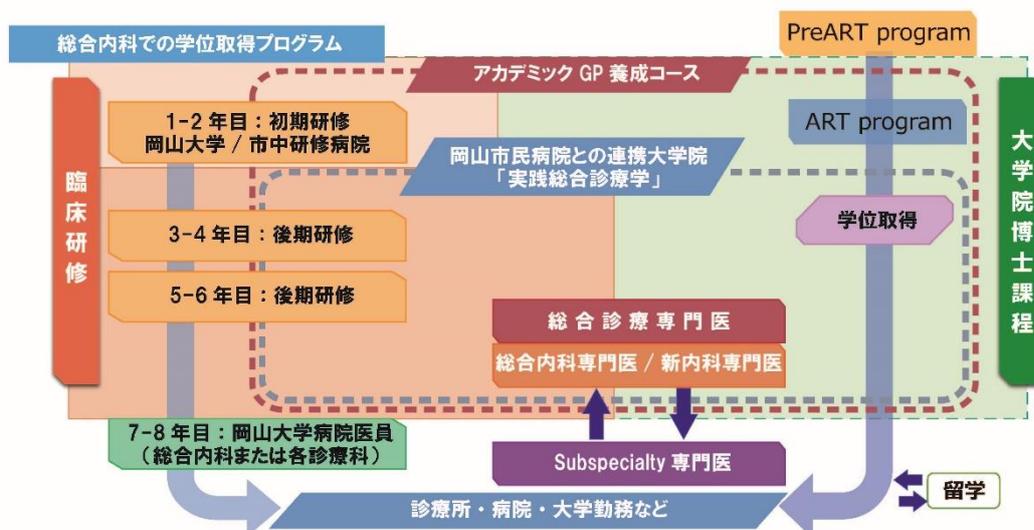
総合内科・総合診療科のシンボルマーク

総合内科・総合診療科が各専門内科のハブ（Hub）として位置し、総合性と専門性の機能を有していることを示しています。



総合内科・総合診療科のキャリアパス

当科では、臨床と研究、両立しにくい2つのキャリアを同時に進めていくことが可能です。内科総合力を進化させるためには、基礎・臨床の両側面からの探求心が必要です。内科専門医・総合診療専門医・サブスペシャリティ専門医を取得しながら、リサーチマインドを一緒に育てていきましょう。研究テーマは臨床・基礎・医学教育系と多岐にわたります。



地域医療寄付講座

地域医療寄付講座を通じて、病院総合診療医育成のための調査・研究を行い、SDGs（Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標）に基づいた継続性のある地域医療の実践を目指しています。



集合写真 2020年 (3密に注意しながら撮影しました)

